

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~226 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2005・7



まちの人



スタジオ・シンフォニカ設計者兼住人

はたけなか ひでゆき
畠中 秀幸さん(36)

発寒3条1丁目5-21
TEL 667-8350 FAX 667-8351
ホームページ
<http://www.sinfonica.co.jp/>

現在も週に1～2組の見学があり、この2年間でイベントも含め1,000人以上の人が建物を訪れました。音楽イベントでは、演奏会後に演奏者と観客が交わる時間を設けるなど、人と人の出会いの場となることも意識されています。

小学生のときからフルートを習い、現在も演奏活動を行っている畠中さんの音楽家としての活動拠点にもなっています。



■音楽スタジオ兼設計事務所兼自宅。ピアノを弾きながら手稲山を眺めることができる。

かつては生活道路だった間口五・四段、奥行き四十五段の細長い敷地に建つスタジオ・シンフォニカ。京都の町屋をイメージに自身で設計し、実際に住んでいるのが畠中秀幸さんです。

家一軒分の玄関前アプローチが続くこの建物。畠中さんは「途上の家」と名付けました。以前は道だったことを意識して建てられているため、玄関から奥にある庭までが見通すことができ、天井にも採光用の窓が取り付けられた開放的なデザインになっています。家に入るとクラシックカーが出迎えてくれます。場合

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがきファクスEメール nishi@city.sapporo.jp 西区総務企画課広聴係(上欄)へ。

人が集い、交わる、地域の寄り合い所でありたい

によつては、この車が家の中を通り抜け、庭に置かれることもありません。ここは月一回室内楽コンサートが催されるなど、音楽スタジオの機能も併せ持っています。木造の建物に柔らかな音色が響き、心地よい空間が生まれています。広島県で生まれ、中学・高校時代を札幌で過ごした畠中さん。高校の修学旅行で訪れた京都にひかれ、京都の大学に進学し、町屋での生活を体験しました。そして建物と庭遠くの山を借景とした、広がりをもった設計が建築家にはできるのではと考えたそうです。札幌で自宅を構えるときに、敷地前に広がる市道を見て「今後、大好きな手稲山を遮る物が建つことはまずない」この土地と畠中さんは運命的な出会いをしたのです。

建物を作るだけでなく、地域の生きた空間となることを目指している畠中さん。「美術展やフリーマーケットなど、地域の人たちに開放して、いろいろなることをするサロンとして使いたいです。お互いに影響し合って自然発生的にまちづくりができたら」。発寒で「何かが起こるための場づくり」が始まっています。